



日時	11月16日(金)～17日(土)
場所	岩手県陸前高田市、宮城県登米市
参加人数	16名(男11名、女3名、事務局2名)

● 活動内容



初日は、陸前高田市の中心部で、側溝の泥出しを行いました。

現場は市民体育館からさほど離れていないところで、瓦礫の撤去は十分に進んでいましたが、側溝は震災当時のまま手付かずで残され、泥がカチカチに固まり、側溝のふたが膨張していました。ボランティアメンバーは、手こずりながら作業を行いました。側溝のふたを開け、側溝内の泥を出し、その泥を5種類に分別し、ふたを戻すという作業でかなりの重労働でしたが、割り当て範囲の作業が終わった後もその先の側溝の作業を行いました。きれいになった現場を見て、ボランティアメンバーは、かなりの達成感をえました。



2日目は、被災地から約170名の子どもたちを登米市の体育館に招待して、午前中はバスケットボールクリニック、午後はJXサンフラワーズ対日立ハイテククーガーズの試合観戦を行いました。

バスケットボールクリニックでは、ボランティアメンバーもアップ(体を動かす前のランニングやストレッチ、フットワークの練習など)を行い、またディフェンス役になり、子どもたちを相手に楽しみながら活動しました。

ボランティアメンバーは初日の手こずった泥出し作業で疲れ気味でしたが、子どもたちの笑顔で疲れも吹き飛びました。